

九、青嶋久雄教会長さんの時代(平成六年～平成一二年)

青嶋教会長さんは立正佼成会の命である法座の充実に重点を置かれ、法座主教育や教会長さん自らの大法座によって救い救われの輪を広げられました。又、慈悲の手取り(一人が三人の手取り)マーシーネットワークを提唱し、主任・組長・班長の育成を図られました。さらに新入会員の集いを開催し新しい信者さんへの取り組みにも重点をおかけしました。一方で「おかげさま新聞」を発刊され、新しい文書布教にも取り組まれました。青年部育成にも力を注がれ、特に青年女子部には年間の全式典の奉献の儀のお役を下さり、奉献の手取りを通して育成して下さいました。

平成九年九月には「杜の都普門団参拝(五千人参集)」が盛大に挙行され、みんなが主役の意識で慈悲の手取りが展開されました。教育の面では、役別教育、教学研究を通して幹部の育成に尽力されました。

平成十一年十月の「開祖さまご入寂」に際しては、教会長の元、会員一同「報恩感謝の証は教えを実践していくこと」とお示し下さり、悲しみを乗り越え信仰継承をお誓い申し上げました。

文化振興面では、発足四十周年記念として京都清水寺館主、森清範師を招いての第一回文化講演会、翌年の薬師寺住職、安田暎胤師による第二回文化講演会を開催し、多くの有識者の方々への社会布教の輪を広げられました。

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

平成六年 (一九九四)年

十二月八日 成道会式典開催

青嶋久雄教会長就任式(前京都教会長)

十二月十日 青嶋教会長歓迎会

十二月二十二日 教会長布教 (白石法座所、角田法座所)

平成七年

一月一日 元旦初参り式 司会 高橋良仁

件

一月五日 初ご命日 篠田会計さん送別会

一月十七日 阪神淡路大震災ご供養

一月十七日 阪神・淡路大震災に
ボランティア隊を派遣

二月三日 節分会式典開催

二月十五日 涅槃会式典開催

四月八日 降誕会式典開催

四月十七日 ロサンゼルス教会仙台訪問

四月二十七日 法輪クラブの集い (写経)

地下鉄サリン事

五月二日　　ご宝前　壁張替え工事

六月二五日　光祥さまご結婚祝賀会

八月十五日　全世界戦争犠牲者慰霊恒久平和祈願式典

九月五日　　長沼特別顧問　ご布教

九月十日　　妙佼先生三九回忌法要式典

九月二四日　秋季彼岸会法要開催

十月五日　　交通安全大会実施

十月十二日　地区長練成会開催

十二月十七日　進発式開催

躍進のつどい開催（勝山館）

十一月十五日　開祖さま卒寿お誕生会式典



【平成六年 青嶋教会会長さん法座所布教】
白石法座所



角田法座所



【平成七年 元旦初詣り式典】



【平成七年 篠田会計さん送別会】



【平成七年 節分会式典】



【平成七年 涅槃会式典】



【平成七年 降誕会式典】



【ロサンゼルス教会仙台訪問】
青嶋教会長さん歓迎の挨拶



太鼓と踊りで歓迎



佐々木支部長さん



【平成七年 法輪クラブ（写経）】



【ご宝前 壁張替え工事】



左から秋野さん、及川さん、佐々木さん、茅根さん



【平成7年 光祥さまご結婚祝賀会】
司会 千葉高子さん



説法 早坂さん



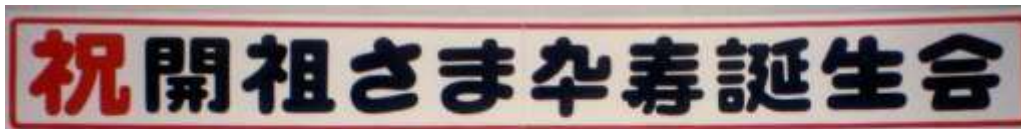
【平成七年 長沼特別顧問 ご布教】



【平成七年 志賀野前教会会長さん】



【平成七年 地区長練成会】



【平成七年 開祖さま卒寿誕生会】

【平成七年 躍進のつどい開催（勝山館）】



【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

平成八年

一月一日

元旦初参り式典 司会 新井孝典

一月一日

酒井教雄が第三代理事長に就任

挨拶 六部長、支部長全員

薬害エイズ訴訟

一月五日

初ご命日式典開催 奉献の儀 学生部

新春の集い開催

司会 伊藤和正

二月三日

節分会式典開催

説法 及川支部長

この年から青嶋教会長さんの提案で福引が始まりました

二月十五日

涅槃会式典開催

三月五日

創立記念日式典開催 (五八周年)

三月二三日

春季彼岸会法要開催

四月八日

降誕会式典開催

四月二八日

普門の日式典開催

五月十二日

社会福祉講座 高齢社会の到来と地域問題

講演 「共に生きる社会を考えよう」

講師 全国老人クラブ連合会常任理事 鈴木五郎氏

五月一九日

青年の日に竹村欽三氏ご布教

十月十五日

第五回ACRP開催

七月十五日

孟蘭盆会式典開催

奉献 女子部

この年から新仏さまの戒名供養が始まりました

八月十五日

戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典開催

九月八日

全国壮年結集の日開催

九月十日

妙佼先生ご命日式典開催

九月二三日

秋季彼岸会法要開催

奉献の儀 女子部

十月十二日

お逮夜法要開催

新しい会員さんの集い開催

十一月十日

開祖さまお誕生お祝い会開催

十一月十五日

開祖さまお誕生会式典開催

十一月十七日

天台宗 一隅を照らす運動宮城県福祉大会開催

十二月八日

成道会式典開催

【平成八年 元旦初参り式典】



【平成八年 新春の集い】





【平成八年 節分会式典】



平成十七年からの宮城県知事 村井さんも参拝



この年から福引が始まる

【平成八年 涅槃会式典】

脇導師 岩井さん 太田さん





【平成八年社会福祉講座】



【平成八年孟蘭盆会式典】



この年から新仏さま供養始まる



【平成八年 全国壮年結集の日】



少年部がご供養のお役



【平成八年 妙佼先生祥月ご命日】



協導師 尾形さん 宮島さん 加藤さん



【平成八年 新しい会員さんのつどい】



【平成八年 開祖さまお誕生お祝い会】



婦人部コーラス



開祖さまがお好きな「佐渡おけさ」

【仙台教会】

平成九年

一月一日 元旦初参り式典 司会 太田さん、千葉さん

一月十五日 初ご命日式典開催

体験説法 宮澤大学部長

二月二日 節分会式典開催

二月十五日 涅槃会式典開催

三月五日 創立記念日式典開催 (五九周年)

体験説法 宮島佐知子さん

三月二三日 春季彼岸会法要開催

四月八日 降誕会式典開催

七月十五日 孟蘭盆会式典開催

八月十五日 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典開催

九月十日 妙佼先生ご命日式典開催

九月十四日 杜の都の普門団参 (普門館 五千人参集)

九月二三日 秋季彼岸会法要開催

十月十二日 お逮夜法要開催

十一月十五日 開祖さまお誕生会式典開催

十一月十六日 開祖さまお誕生祭開催

十二月八日 成道会式典開催

【教団】

【社会の動き】

マザー・テレサ死去

九月二九日 庭野会長がボスニア・ヘルツェゴビナを訪問

ボスニア和平に向け、四宗教の指導者と会談

【平成九年 元旦初参り式典】





【平成九年 新年会】
佐竹青年部長挨拶



宮澤大学部長説法



奉献女子部

【平成九年 節分会】





【平成九年 創立記念式典】
衛星放送開祖さまお説法



宮島さん
体験説法



よろこびのうた



【平成九年 春季彼岸会式典】



【平成九年 孟蘭盆会】 灯籠での奉獻





【平成九年 杜の都の普門団参】
ご供養



女子部奉獻



佐竹実行委員長さん挨拶



【平成九年 杜の都の普門団参】
伊達太鼓



まとい



パフォーマンス



【平成九年 杜の都の普門団参】



鼓笛隊

ぼんぼん隊



踊り



【平成九年 開祖さまお誕生会式典】



【平成九年 成道会】女子部奉獻

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

平成十年

一月一日

元旦初参り式典開催 司会 佐藤恭一 狩野知子

六部長代表挨拶 佐竹青年部長 阿部壮年部長

一月一日 新「立正佼成会会規」施行

支部長代表挨拶 及川支部長

和歌山毒入りカレー事件

青嶋教会長年頭挨拶

「今年は、本会創立六十周年であり、二黒土星の年です。大地に
しっかり足をつけて、いつそこの精進をお誓い致しましょう。」

一月五日

初ご命日式典開催 司会 藤井君枝

奉献の儀 青年女子部 決意の言葉 久保教務部長 佐藤景子

説法 青嶋教会長

「自分が信じていないものを人に信じてもらう事はできない。
先ず自ら信仰を作っていくという事。今年はお互いに自分の
信仰を耕しましょう」

第二部 新春の集い 司会 茅根利安

二月三日

節分会式典開催 司会 南部光世 体験説法 佐々木康予(利府支部)

説法 青嶋教会長

「してもらえない幸せには限りがある。して差し上げる幸せは
無限に広がっている。福は幸せと感じられる徳分。まわりの
方の心も耕し、一人ひとりが観音様になりお救いさせて頂く。」

二月十五日

第二部 節分祭 司会 境教務員

涅槃会式典開催 司会 千葉圭子

奉献の儀 青年女子部 体験説法 熊谷奈三江（東支部）

躍進研修 久保教務部長

説法 青嶋教会長

「涅槃とは、この世のとらわれがなくなり、自然の生き方を
する事です。人様のために身を捧げる生き方をし自らをよ
りどころとして、考えを杖にして、これからいつそこの精
進とお祈りをいたします。」

三月五日

教団創立六十周年記念式典 司会 千葉圭子

体験説法 後藤玲子（岡田支部）

伊達家十八代当主伊達泰宗氏ご挨拶

説法 青嶋教会長

「開祖様のお心を感じ取ると共に、六十年の歴史を作り上げて
下さり又、それを支えてきて下さった皆様へ感謝致します。
そして、今日・明日からの歴史は私たちが作り上げていき
ましょう。校成会のためだけでなく多くの人々のために精
進していかなくてはなりません。」

夜の部 司会 庵原達仁 説法 斉藤弘一（八木山支部）

三月二日

春季彼岸会法要 司会 千葉暢子 奉献の儀 青年女子部

教団創立60周年総合目標
「一人ひとりの心田を耕す校成会」

体験説法 小原沙知子（中田支部） 氏家由記（古川支部）

説法 青嶋教会長

「お経の中に、私たちが人様のために身を使って奉仕を實行しますということが、ご先祖さまの供養になるとあります。仏さまの教えを身につけお彼岸の供養を行って表していく事ではないでしょうか」

四月八日

降誕会式典開催 司会 後藤玲子

甘茶供養 賛嘆文 花渕こずえ 稚児行列二五名

体験説法 佐藤浩史（中学部長） 阿部公重（高校部長）

説法 青嶋教会長

「お釈迦様のお誕生は偶然ではなく宇宙の真理＝本仏によって送り出された仏である。二千五百年後の末法の時代の私たちのために教えを説かれた。私たちも本日、私たち自身の誕生を自覚しましょう。」

六月七日

教団創立六十周年記念式典（仙塩ブロック） 司会 後藤玲子

大法座 青嶋教会長 挨拶 遠藤真理子支部長

太鼓披露 レクレーション（司会 大場健雄）

六月二一日

教団創立六十周年記念式典（北ブロック） 司会 千葉暢子

体験説法 デイビス早坂京子 萩谷泰志

説法 青嶋教会長 挨拶 及川奈三江支部長

六月二七日
物産展 (挨拶 木村実行委員長)
教団創立六十周年記念式典 (中央ブロック) 司会 千葉圭子

講話 「本物の教えに出会えた幸せ」 山崎先生

説法 青島教会長

「校成会はただ祈るだけの宗教ではないが、祈る事も大事。その後の自分の行いもそれ以上に大事。人のためになる事をするとう自分を輝かせることができる。自分で自分の命を讃え輝ける命の行いを。」

挨拶 中村佳代支部長

アトラクション (シャンソン歌手 小山さん)

七月十二日
教団創立六十周年記念式典 (西ブロック) 司会 小原優典

演劇説法 「一度きりの人生はばたけ二一世紀へ」

説法 青島教会長 実行委員長お礼 佐藤記正

チャリティーバザー

七月十五日
孟蘭盆会式典開催 司会 太田委久予

奉献の儀 青年女子部 体験説法 五十嵐久枝 (名取西支部)

八月三日 庭野日鏡会長先生著書

「心田を耕す」 発刊

八月十五日
戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典開催 司会 佐藤貴子

奉献の儀 学生部

体験説法

大友俊明（長町支部） 小林佑季子（西支部）

佐藤高央（中山支部） 千葉孝平（青葉支部）

萩谷学生部長

説法 青島教会長

「素晴らしい子供達の発表を聞かせて頂きまして、親の精進
おじいちゃん、おばあちゃんの精進が、信仰の功德が子供
の命となつてよみがえっているという事をかみしめていき
たいと思います。一人ひとりの心のうちにいかにして平和
な心、争いのない生活ができる日を作っていくことが平和
祈願の日の仏さまへの約束ではないかと思ひます。」

九月一日

地区家族の集い開催

司会 早坂晃子

研修 青嶋教会長

地区法座

レクレーション 「幸せなら手をたたこう」

決意発表 伊藤克枝（太白支部） 村上美智子（若林二支部）

阿部貴恵（泉中央支部） 齊快枝（南支部）

佐藤由美子（岩沼支部）

九月六日

ふれあいまつり開催（敬老会） 司会 河田伊津子

体験説法 深村和良 萩谷亜紀（少年部）

菅原里枝（婦人部） 佐々木会長（法輪クラブ）

挨拶 青嶋教会長 お話 土井和子

九月十日

脇祖さま祥月ご命日式典開催 司会 瀬戸君枝

奉献の儀 法輪クラブ

体験説法 和田安世（八木山支部） 笹森優恵（角田支部）

説法 青嶋教会長

「仏さまに生かされている命があり、その命を真理によって真理を
実行する。人様のために自分を使う人が救われる。様々な入会
ご縁がありますが、そのご縁によって命の尊さに気づけるのが倂
成会のありがたいさなのです。そして行ずるところに教えがあり、
理と行が伴う所に本質的な救われがあるのです。」

九月二十日

壮年部結集大会開催 司会 伊藤佳央

オープニング わらべ太鼓

壮年部長挨拶 阿部好信

体験説法 村上政雄（若林二支部） 清野泰弘（角田支部）

講演 青嶋教会長 『われわれ壮年はいま、どう生きるべきなのか』

「在家仏教の幸せになる生活の仕方として、もの見方も自分の欲
で損得中心になると不調和がでてきます。自分の我をとってくれ
るために家族が言ってくれるのだと感謝して聞かせて頂くと調和
し、道も開けてきます。」

決意発表 加藤（古川支部） 実行委員長挨拶 佐々木敬泰

九月二十五日

秋季彼岸会式典開催 司会 平塚晃代

奉献の儀 婦人部

体験説法 佐々木康予（利府支部） 鈴木克枝（岡田支部）

十月十三日 日蓮聖人 七百十七御遠忌法要式典開催 司会 板山哲子

奉献の儀 地区文書

体験説法 保原一恵文 書布教部長

実行委員長挨拶 佐藤絢子（太支部白）

十月三十日 水子供養式典開催 司会 荒谷宏枝

奉献の儀 婦人部

体験説法 須藤弘子（宮城野支部）

説法 久保教務部長

十一月十五日 開祖様お誕生会式典開催 司会 今野多紀子

奉献の儀 青年女子部

「開祖さまに学ぼう」青年部 「紙芝居開祖さま」少年部

説法 青嶋教会長

「久遠のご本仏様と一体のお姿の開祖さまをお師匠さまとして
お祝い申し上げられる私たちは最高の幸せな弟子であるとい
う事に自覚と自信を持ちたいと思います。開祖様に喜んで頂
けるよう、身の布施、法の布施、財の布施に精進する事をお
誓い申し上げ、和合の姿で平和境を作っていくよう躍進をさ
せて頂きましょう。」

十二月八日

成道会式典開催

司会 大坪由美子

奉献の儀 青年女子部

体験説法 笹森きぬよ（角田支部）

村松加都江（中央支部）

説法 青嶋教会長

「四年前の今日、仙台にお役を頂き初めてお出会いをした記念すべき日。今日という日をどのような気持ちで生きているのか。宇宙の真理に添う生き方をしていれば悩みは消えていく。生命の尊さ、感謝を自覚して今日を生きることが教えて頂きました。」

ハッピー法座 支部長さん中心の交流法座

十二月十八日 青嶋久雄教区長副団長でインド仏跡参拝出発



【平成十年 初参り式典】
侍者 市川高德 佐藤浩史



六部長挨拶



【二月五日 初ご命日】
司会 茅根利安



【平成十年 三月五日 教団創立六十周年】

伊達家十八代当主伊達泰宗氏ご挨拶



【平成十年 三月二日春季彼岸会法要】



【戦争犠牲者慰霊・平和祈願式典】



【九月一日 地区家族の集い】



【平成十年九月六日 ふれあいまつり（敬老会）】
 左から和田さん 小野さん
 竹とんぼ作り 奥から宮島さん安海さん





【平成十年九月十日 脇祖さまご命日式典】



担当 法輪クラブ





【平成十年九月二十日 壮年部結集大会】





【平成十年十一月十五日 開祖様お誕生会】
 奉献の儀 青年女子部



紙芝居 「開祖さま」

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

平成十一年（教会発足四十周年）

一月一日 元旦初参り式 司会 中村安広 七浦希予江

挨拶 浅野総務部長 中村支部長

織笠裕章（四十周年実行委員長）

青嶋教会長年頭挨拶

「会長先生のご指導のもと、八分目の願いを持って生きていきました。難儀の年といわれる時こそ大飛躍の年になるように、会長先生の命の叫びを私たちの命の叫びとして、お釈迦様の教えを支えとし、先生に報恩感謝の一年としましょう」

一月五日 初ご命日式典開催 司会 太田委久子

奉献の儀 青年女子部

決意の言葉 久保教務部長

説法 青嶋教会長

「自分自身どういう人間なのか見つけてみる事が大切である。いたらない事のない人はいない。自分の周りに不平不足が現れた時は、教えが薄くなっている時である。学んだご法をどれだけ家庭、職場、地域の中で活かされているかどうかが重要です。」

午後 新春の集い開催

西暦二千年問題

二月一日 支部を二九支部から二七支部に再編成

教勢 一三二、一三三―一世帯

二月三日 節分会式典開催 司会 浅野晃代

体験説法 菅原良枝（西支部）

説法 青嶋教会長

来賓挨拶 岩渕喜子様（明社仙台地区協議会会長）

吉田正賢様（天台宗仙岳院住職）

第二部 節分祭 司会 境教務員

鬼 佐藤順也、阿部高士、赤間輝之 うさぎ 川下育子

二月十五日 涅槃会式典開催 司会 伊藤克枝

奉献の儀 青年女子部

体験説法 千葉真奈美（鶴ヶ谷支部） 佐藤和代（栗駒支部）

説法 青嶋教会長

「お釈迦様はお隠れになったが經典の中にいつも生きている。今ある苦勞でどのような自分になるか、苦勞で輝ける自分になれるように精進させていたただく事を教えて頂きました。」

実行委員長挨拶 藤井君枝

三月五日 教団創立六十一周年記念式典（衛星放送） 司会 大久保哲子

奉献の儀 青年女子部 体験説法 遠藤友理子（多賀城支部）

説法 青嶋教会長

三月二日 春季彼岸会法要 (読上げ入神者数 三六九人 読上げ数 五、三八四家)

司会 鹿野光世

奉献の儀 青年女子部 (西ブロック)

体験説法 佐竹祥子 (東支部) 鈴木沙依 (八木山支部)

説法 青嶋教会長

四月八日

降誕会式典開催 司会 大坪由美子

甘茶供養 賛嘆文 小島啓輔 (泉西支部) 浅野すみか (太白支部)

稚児行列三十名

体験説法 角田享子 (仙台ブロック女子部長) 鹿野光世 (中田支部)

説法 青嶋教会長

「お釈迦様は仏の使いとしてこの世に出現し、衆生を救うために法を説かれ、教えが生活の基盤になるように願われた。物事の判断を勝手なものさしで決めてしまうと苦が生じる。人さまに与えて与えて功徳を積ませて頂き教えを生活に生かし喜びの人生を、そして今日から感謝と温かい心で命を使わせて頂くことを教えて頂きました。」

六月十三日 第一回「教師資格授与式」

六月二七日

水子供養式典開催 司会 河田伊津子

奉献の儀 親子十四組 ナレーション (境いずみ)

体験説法 阿部馨子 (青葉支部)

説法 久保教務部長

七月一日 支部設置基準に合わせ二六支部に再編成

七月二日 自自公連立政権に対する

教団見解を發表

七月十五日 孟蘭盆会式典開催 司会 斉藤幸子

奉献の儀 青年女子部

体験説法 デイビス早坂（古川支部） 上遠野恵美子（白石支部）

説法 青嶋教会長

八月十五日 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典開催 司会 飯田良恵

奉献の儀 学生部二十四名

体験説法 高橋章江（泉北支部学生部） 柴田有加里（西支部学生部）

説法 青嶋教会長

九月十日 脇祖さま祥月ご命日式典開催 司会 篠田享子

奉献の儀 法輪クラブ

体験説法 佐藤容子（太白支部） 中鉢真代（中央支部）

説法 青嶋教会長

九月二五日 秋季彼岸会式典開催 司会 鈴木文子

奉献の儀 婦人部

体験説法 大竹沙祐里（宮城野支部）

説法 尾形支部長

十月三日 仙台支部発足四十周年 報恩感謝の集い（功労者）

十月四日 庭野日敬開祖さまご入寂

十月十日 開祖葬「葬儀告別式」 衛星中継 司会 宮島佐知子

挨拶 青嶋教会長

十月二四日 仙台支部発足四十周年記念式典 司会 織笠有紀子

奉献の儀 青年女子部

鎌田晃世 佐々木ひさえ 佐藤佳代 笹口智子 太田そのみ

鈴木江江子 鈴木身江子 山口夏 二坂朋子 上野早苗

武田江津子 阿部江津子 木村まい 小野雅子 島裕子

佐藤祐理子 安倍くみ子 大井理江 片桐佑季 黄川田正美

ご名代 天谷忠央理事

体験説法 阿部公重

功労者代表 故 森敬典様

ご講話 天谷忠央理事

十一月一五日 開祖さま報恩感謝の集い 衛星中継 司会 後藤玲子

奉献の儀 青年女子部

説法 青嶋教会長

十一月二日 開祖さま四九日ご供養 衛星中継 司会 境いずみ

十一月二日 仙台教会第一回教師資格者 法具授与式 司会 宮島佐知子

法具授与 青嶋教会長・各支部代表者

説法 青嶋教会長

十一月二五日 青嶋久雄教会長 第七回WCRP（ヨルダン・アンマン）参加

十一月二五日

第七回WCRP開催

十一月二八日 仙台教会発足四十周年記念文化講演会

京都清水寺 貫主 森清範（仙台国際センター 千名参加）

十二月一日 二六支部から二一支部に再編成

十二月八日 成道会式典開催 司会 酒井優江

奉献の儀 青年女子部

体験説法 大坪由美子（角田支部） 小関知子（塩釜支部）

説法 中村佳代支部長

かみしめ 桜井孝至（東北教区教務員）

実行委員長挨拶 佐藤安世（青葉支部）



【平成十一年 元旦初参り 五日 初ご命日 新春の集い】



【平成十一年 二月三日 節分会】



【平成十一年 四月八日 降誕会】





【平成十一年 六月二七日 水子供養】
境さん ナレーション



【七月十五日 孟蘭盆会】
青島教会長さん お説法



【十月三日 発足四十周年感謝の集い】
功労者 感謝の集い

庭野開祖ご入寂

四日午前、老衰のため

私たちが立正佼成会会員の大恩師であり、慈しみあふれる父でもあった庭野日敬開祖が、十月四日午前十時三十四分、老衰のため、療養中の佼成病院（東京・中野区）でご入寂された。満九十二歳だった。柔和な笑顔をとたたえ、ひたすら法華経を説き続けてこられた「開祖さま」。国際社会に非暴力の重要性を一貫して訴え、宗教協力を世界的な潮流にまで育ててこられた「ニッコウ・ニワノ」。二十世紀を代表する宗教指導者が、いま、静かに人生の幕を閉じられた。



ありし日の庭野開祖—平成4年9月撮影

……いつかは来るであろう、しかし決して早くはないその日だ、開祖さまの息が止まった。……

開祖さまは、昨年4月、体調を悪く、療養生活に入る。開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。

開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。開祖さまは、病室にこもり、法華経を説き続けた。

立正佼成会開祖、平和運動に尽力

庭野日敬氏が死去

92 歳



宗教間の対話と協力を説き、宗教による世界平和運動に大きな足跡を印した立

正佼成会開祖の庭野日敬（にわの・にっきょう）氏が4日午前10時34分、老衰のため東京都中野区の病院で死去した。92歳。立正佼成会開祖は10日午前10時、杉並区和田2の1の1の立正佼成会大聖堂で行われる。葬儀委員長は酒井教雄・立正佼成会理事長。喪主は長男の庭野日鏡（にちこ）氏。立正佼成会本部連絡先は同所の立正佼成会本部。

1906（明治39）年、新潟県十日町の農家の生まれ。16歳で東京に出て、新炭店に勤めた。20歳で海兵団に入り、除隊後の30（昭和5）年に結婚。長女、二女の病気をきっかけに宗教通歴を重ね、姓名鑑定も修得。その後、先祖供養と法華経の功德を説く霊友会に入るが、38（同13）年、故・長沼妙校（みよこ）氏と共に東

京都中野区明神町で大日本立正佼成会（のちの立正佼成会）を創設した。戦中戦後に教団の基礎を固め、51年には他の新宗教教団とともに新宗連（新日本宗教団体連合会）を発足させ、以後その中核教団の指導者として今日にいたる。65年、ローマ・カトリックの第2バチカン公会議に招待されたのを機に、「宗教協力」平和運動を掲げ、70年には日本宗教連盟理事長の立場で、WCRP（世界宗教者平和会議）の第1回会議を開催。仏教、キリスト教、イスラム教などを糾合した最大規模の宗教会議だった。日本の諸宗教代表もこぞって参加。以後、ほぼ4年ごとに世界各地で開かれたWCRP会議を財政的にも支えるなど、国際舞台で主導的役割を果たした。

(朝日新聞、H11.10)

立正佼成会の開祖・平和運動も

庭野日敬氏死去

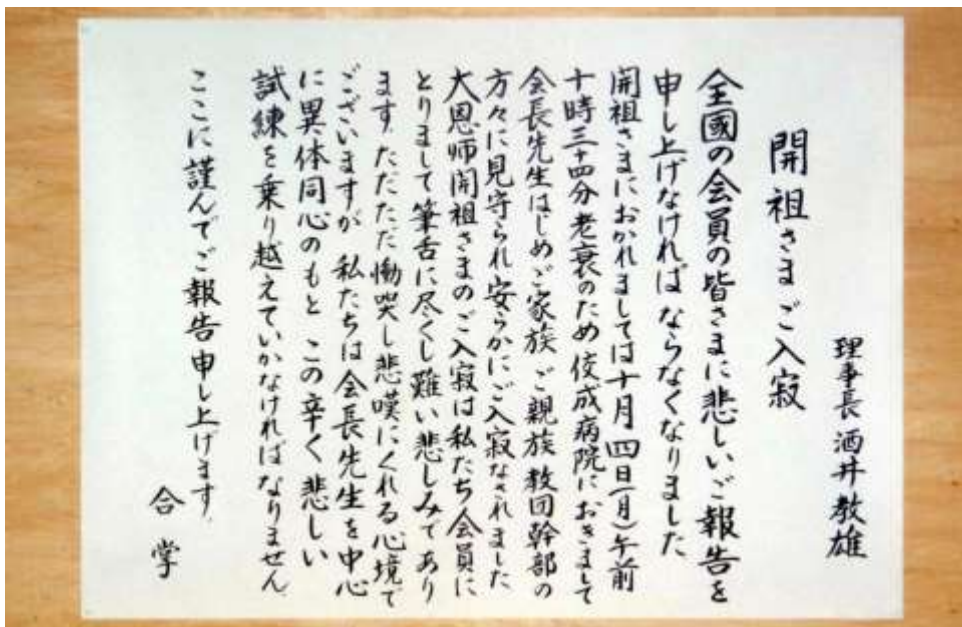
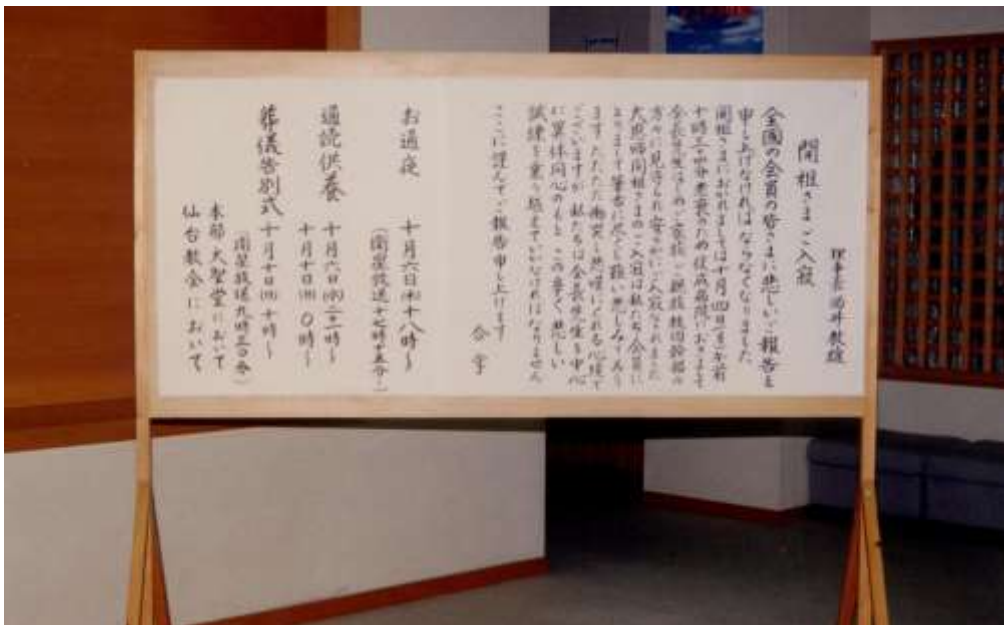


立正佼成会の開祖で、国際的な宗教対話や、宗教者による平和運動の促進に大きく貢献した庭野日敬（にわの・にっきょう）氏が四日午前十時三十四分、老衰のため東京都中野区の病院で死去した。九十二歳だった。葬儀・告別式は開祖葬として十日午前十時から東京都杉並区和田二の一一の一の立正佼成会大聖堂で。葬儀委員長は酒井教雄立正佼成会理事長。喪主は立正佼成会会長の長男日鏡（にちこ）氏。自宅住所は公表していない。

一九九一年、会長位を日鏡氏に譲って「開祖」に就いた。立正佼成会は信者約六百十五万人。新潟県十日町（現十日町市）の農家に生まれた。小学校を卒業後、十六歳で上京。漬物店や牛乳店を営む傍ら、自分の子供の病気をきっかけに、法華経信仰の道に入った。三五年に霊友会に入会。三八年に、故長沼妙校氏とともに霊友会を脱退し、約三十人の信者で法華経をよりこるとする「大日本立正佼成会」を創立した。四八年に「立正佼成会」と六〇年に「立正佼成会」と

改称。信者が車座になって互いに悩みを語り合う「法座」活動などで教勢を伸ばした。教団の近代化を図るとともに、個人救済から社会救済へと運動の理念を発展させ、社会奉仕を目的とする「明るい社会づくり運動」、節約した食費を途上国援助などに寄せる「一食（いちじき）を捧（たも）ぐ」運動を提唱。ユニセフ支援、アフリカ援助などに尽力した。また、自民党などの支持団体として、政界にも発言力を持った。他家派との宗教協力にも取り組み、日本宗教連盟理事長などを歴任。七九年、宗教協力による平和活動の功績で「宗教界のノーベル賞」といわれるテンブルトン賞を日本人で初めて受賞した。昨秋に風邪をこじらせて入院、今年三月には教団の式典に出席したが、四月から再入院して、

【平成十一年 十月四日 開祖さまご入寂 お知らせ】



【平成十一年 十月六日 お通夜】



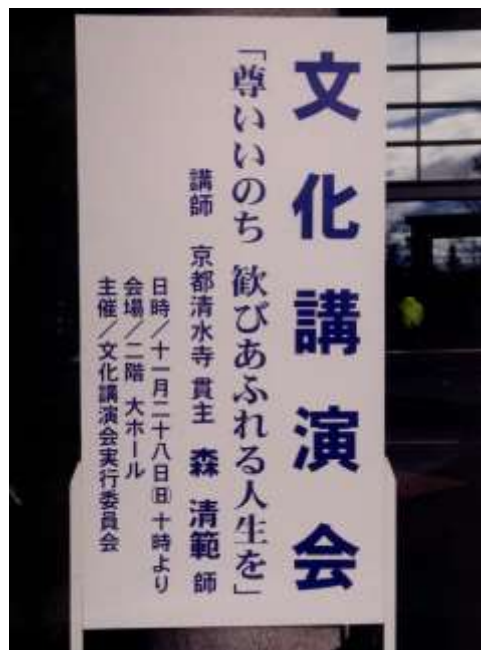
【平成十一年 十月十日 葬儀告別式】



【平成十一年 十一月十五日 報恩感謝の集い】



【平成十二年 十一月二十八日 文化講演会】



仙台国際センター

佐々木渉 外部長
浅野総務部長
森清範師
織笠実行委員長





【平成十一年 十二月二十八日 文化講演会】
森清範師



佐々木実行委員長挨拶



司会 佐々木渉外部長

【仙 台 教 会】

【教 団】

【社会の動き】

平成一二年（西暦二千年）

一月一日 元旦初参り式 司会 小笠原直樹 亀井通江

二千年札発行

挨拶 阿部壮年部長 佐藤高代支部長 佐々木康衣支部長

青嶋教会長年頭挨拶

一月五日 初ご命日式典開催 衛星放送

奉献の儀 青年女子部

説法 青嶋教会長

「今迄を引きずらない、あるべきを引きずらない、あるがままを通して自分がどのような心を起すか、仏さまの教えで見つけていけるよう、明るく思いやりを持って精進する事を教えて頂きました。」

二月三日 節分会式典開催 司会 庄司佳代

祝辞 秀林寺住職 計良浄信師

挨拶 青嶋教会長

第二部 節分祭

二月十五日 涅槃会式典開催 司会 大出恭世

奉献の儀 青年女子部

体験説法 今野多紀子（西支部） 鈴木佐多子（多賀城支部）

説法 青嶋教会長

「涅槃とは四苦八苦にわずらわされることなく、心の迷いをうち払い
教えで心が不動となること。不動とはその時の状況に自分の心が調
和すること。仏さまのお心に添って生命輝くように生きることが教
えて頂きました。」

三月五日

教団創立六十二周年記念式典 (衛星放送)

司会 後藤玲子

奉献の儀 青年女子部

体験説法 中村佳代支部長 (宮城野支部)

説法 青嶋教会長

三月二一日

春季彼岸会法要 司会 鈴木淑子

奉献の儀 青年女子部、婦人部

体験説法 高橋沙予 (岩沼支部) 中川裕紀子 (青葉支部)

説法 青嶋教会長

「彼岸とは心の切り換えの時。信仰を身に着けるために六波羅蜜を
実行し、おかげさまの生活を送れるように、今日頂いた人生が輝
くように精進する事を教えて頂きました。」

四月八日

降誕会式典開催 司会 井上佳美

甘茶供養 稚児行列

体験説法 浅野晃代 (太白支部)

講話 二階堂章子 諏訪神社

挨拶 青嶋教会長

五月十四日 第二回文化講演会開催 講師 薬師寺 安田英胤師

仙台国際センターに有識者二百人参加

六月十八日 水子供養 司会 伊藤喜代

奉献の儀 婦人部 ナレーション(遠藤由美)

体験説法 今村幸代 (中央支部)

説法 宮島佐知子 (教会教務員)

六月二五日 教会団参「報恩感謝のつどい」 仙台教会千五百人参集

七月十三日 文書布教の集い 司会 河田伊津子

挨拶 阿部文書布教部長

実践発表 佐々木康予 (古川支部) 東千陽 (岩沼支部)

研修 青嶋教会長

決意発表 春日利予(岡田支部) 毛呂益子 (八木山支部)

七月十五日 孟蘭盆会式典開催 司会 鈴木久美子

奉献の儀 青年女子部

体験説法 野村浩代(西支部)

説法 青嶋教会長

「世の中は互いに支えあつて成り立っている。自分中心で生きているとバランスを崩す。私の存在が相手の幸福に役立っているかどうか考えていくことが大切と教えて頂きました」

七月二十日 「菅沼子供村」開村

八月十五日 戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典開催 司会 鈴木亜紀

奉献の儀 学生部女子十二名

体験説法 石山高央(太白支部学生部)

戦争体験説法 宮島克次(中央支部)

結びのことば 佐々木渉外部長

九月十日 脇祖さま祥月ご命日式典開催 司会 瀬戸良枝

奉献の儀 嫁姑 二七組

体験説法 緒方良江(太白支部) 佐々木規予(岡田支部)

大法座 青嶋教会長

九月二二日 秋季彼岸会式典開催 司会 前山幸代

奉献の儀 主任 二十名

体験説法 加藤悦子(泉西支部)

説法 佐々木規予子支部長(中央支部)

十月一日 一乗宝塔建立式 衛星放送 司会 深村友彦

結びのことば 新井孝典(壮年部)

十月四日 開祖様ご入寂会 衛星放送 司会 太田絢子

挨拶 青嶋教会長

夜間の部開催

十月二二日 壮年結集大会開催 司会 加藤浩士

実行委員長挨拶 村上雅英

九月十日 脇祖さまに庭野日鑛会長先生

から「脇祖妙佼慈道菩薩」の法号

十月一日 一乗宝塔建立

体験説法 鹿野浩史 (長町支部) 伊藤晃道 (南支部)

講話 松原通雄 (本部渉外部長)

閉会挨拶 阿部好伸 (壮年部長)

エンディング わらべ太鼓

十一月十五日 開祖さま生誕会式典開催 衛星放送 司会 宮本けい子

奉献の儀 青年女子部

十二月二八日 青嶋教会長退任式 司会 織笠有紀子

挨拶 会員代表 石山総務部長

挨拶 退任教会長 青嶋久雄

花束贈呈 会員代表 青年女子部 黄川田江美 (白石支部)

(青嶋久雄教会長は横浜教会に転任)

十二月一日 坪内教会長就任式 司会 千葉恵子

挨拶 本部代表 酒井理事長

挨拶 新任教会長 坪内成恭

誓いの言葉 会員代表 小林青年部長

十二月八日 成道会式典開催 司会 朝倉里依

奉献の儀 婦人部

体験説法 永浦佐知子 (若林支部) 三野宮利江 (栗駒支部)

説法 坪内教会長

【平成十二年 元旦初参り】

ご入寂の翌年でご宝前のお正月飾りはありません

開祖さまのご法号がお祀りされました

受付は袴でお役





【平成十二年 初ご命日】



【二月三日 節分会】

右 仙台藩志会会長、日本山岳協会最高顧問 伊達篤郎氏
左 秀林寺住職 計良浄信師





【二月十五日 涅槃会式典開催】



【三月二日 春季彼岸会】

【四月八日 降誕会】





【五月十四日 第二回文化講演会】



講師 薬師寺 安田英胤師



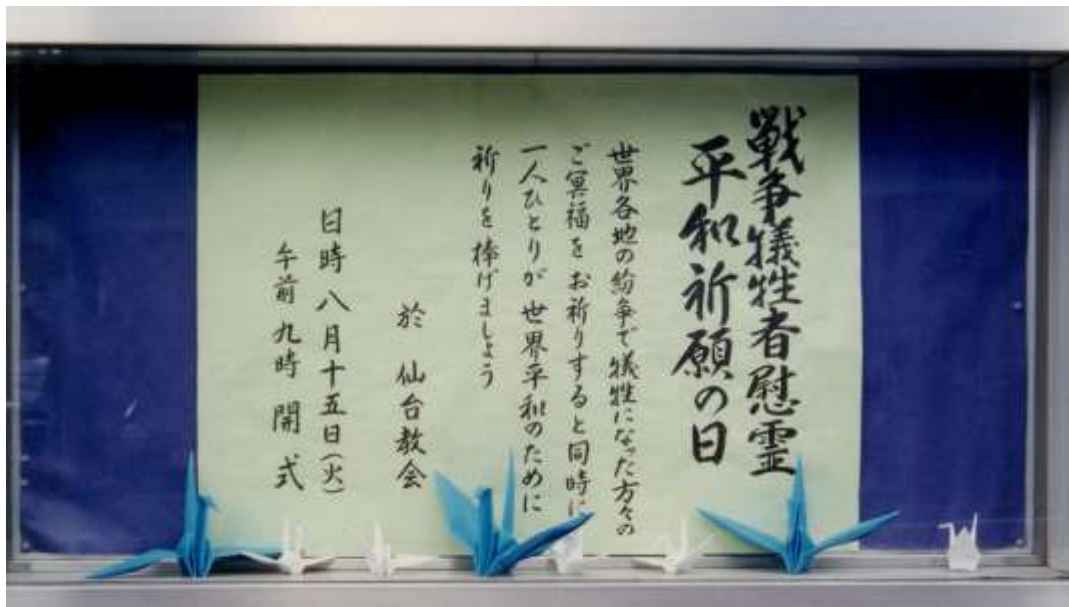


【六月十八日 水子供養】



説法 宮島教会教務員さん





【戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典】



司会 鈴木さん



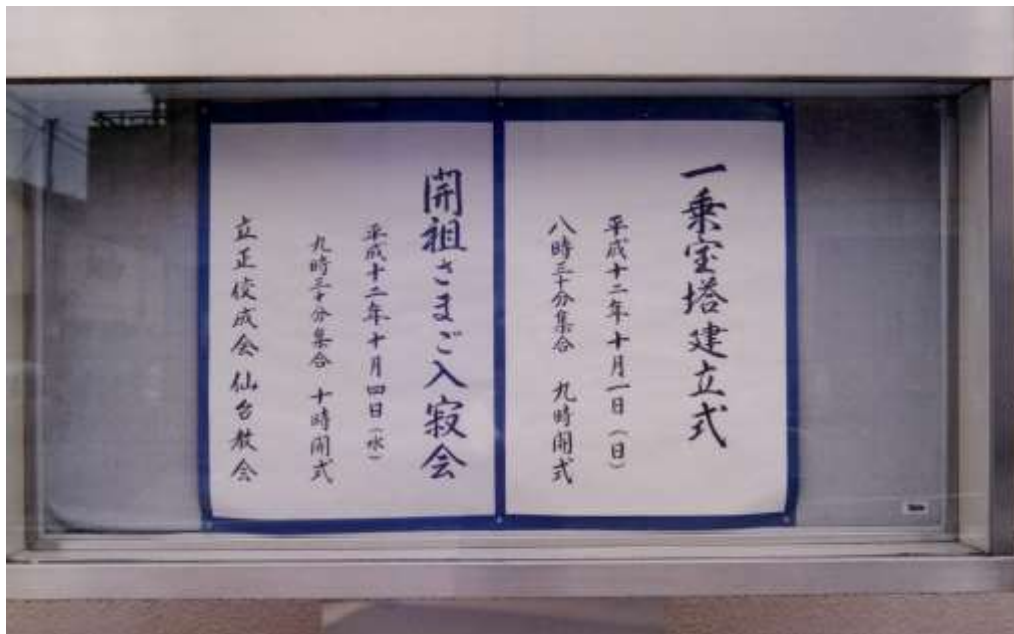


【九月十日 脇祖さま祥月ご命日式典】



【九月二二日 秋季彼岸会式典 佐々木支部長】

【十月一日 一乗宝塔建立式】



【十月四日 開祖様ご入寂会】





【十一月二八日 青嶋教会さん長退任式】



会員代表挨拶 石山支部長



司会 織笠教務員